浴室換気乾燥暖房機
（脱衣室取付可）

高須産業株式会社

工事説明書（壁面取付タイプ）

日本国内家庭用

販売事業者・工事事業者さま用

品番　BF-961RGA　（AC100V）

2502E

設置工事を始める前に必ずこの工事説明書をお読みください。
設置工事は販売店様、または専門の工事店様が実施してください。

本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限（内装材の制限・可燃物との距離の制限など）がありますので、詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください。

■設置工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認し、お客様に使用方法・お手入れ方法を説明してください。
■この工事説明書は設置完了後、別添付の取扱説明書と共に必ずお客様にお渡しください。
■脱衣室への取り付けも可能です。だだし、可燃物との距離を確保してください。（P5参照）

もくじ

製品に関するお願い・・・・・・・・・・・・・・・・・・1～2
安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2～4
取り付けのご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
外形寸法と各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・6～7
取り付け前の準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・8～9
本体の取り付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・10～12
オプションの取り付け・・・・・・・・・・・・・・・・・12
電気工事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
リモコンの取り付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
試運転・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
ランドリーパイプの取り付け・・・・・・・・・・・・・・15
異常表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
各種設定変更のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・16

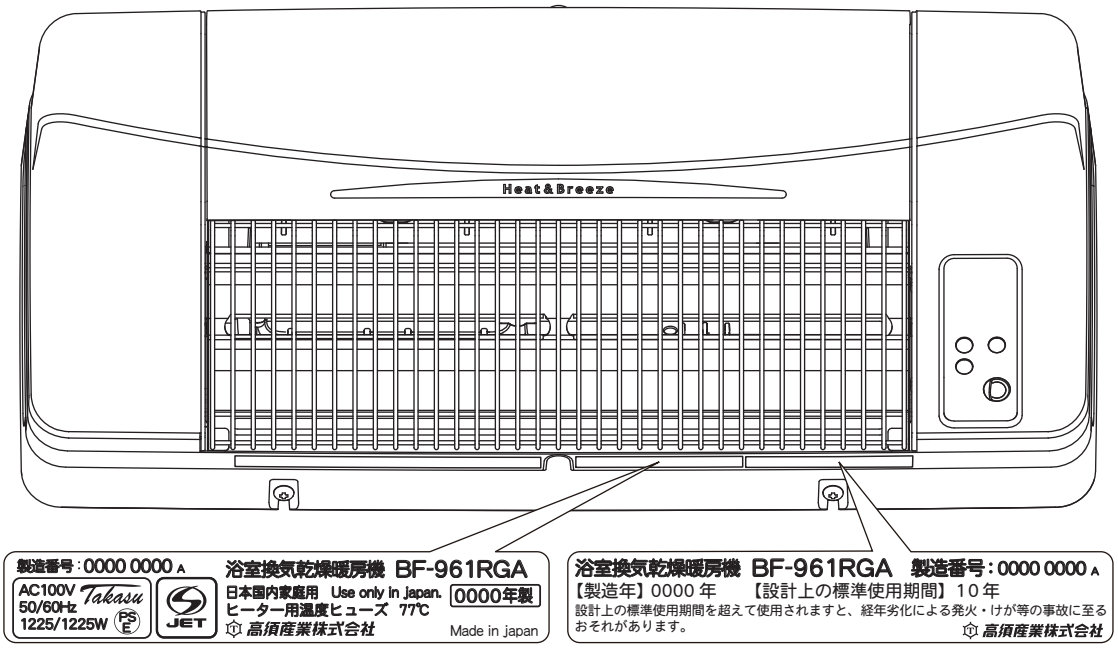
製品に関するお願い

【工事店様へ】

1)本体に【定格ラベル】・【表示制度ラベル】がちゃんと貼られているか確認をお願いいたします。

2)設置工事が完了しましたら、取扱説明書と共にこの工事説明書を販売事業者様または所有者様(賃貸業者様)へお渡しください。

【機器本体表示位置】



【定格ラベル】　　【表示制度ラベル】

安全上のご注意 (必ずお守りください)

■取り付けの前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全に取り付けてください。
■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しております。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示(例)で区分し説明しています。

⚠	⚠ 記号は、「警告」「注意」を促す内容があることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描かれています。
⃠	⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容(左図の場合は一般的な禁止)が描かれています。
❗	❗ 記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中には具体的な注意内容(左図の場合は一般的な強制)が描かれています。

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 警告

❗	**仕様変更・改造は絶対にしない** 火災・感電・けがの原因になります。
🚫	**配線工事・電源接続工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「電気工事士」が行う** 誤った配線工事は、漏電・感電や火災のおそれがあります。
❗	**配線コードにより線は絶対に使用しない** 漏電・感電や火災のおそれがあります。
🚫	**壁面以外の場所には取り付けしない（壁面取付専用の換気乾燥暖房機です。）** 感電・火災・故障の原因や法規制に適合しないことがあります。
❗	**取り付けは、お買い上げの工事店または専門業者に依頼し確実に行う** ご自分で取付工事をされ不備があると感電や火災・落下の原因になります。
🚫	**修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理は行わない** 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
❗	**メタルラス張り・ワイヤラス張り・または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトや、取付ベース板固定ネジが電気的に接触しないよう取り付ける。** 漏電した場合発火することがあります。
⏚	**アース工事は必ず「電気工事士」によるD種（第三種）接地工事を行い、漏電遮断器を設置する（分電盤にあればよい）** アースを取らないと故障や漏電のときに感電することがあります。
🚫	**内釜式風呂を据付けた浴室では使用しない** 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこすことがあります。
🚫	**運転中に本体から異常や異臭が感じられたら、使用を中止し分電盤のブレーカーを切る** 異常のまま運転を続けると火災や感電の原因になることがあります。
🚫	**単相交流100V以外では使用しない（15A以上を確保できるようにすること）** 火災や感電の原因になります。
🚫	**有機溶剤やスプレーを本体の近くに置かない** 爆発や故障の原因になります。
🚫	**コンセントおよび換気扇用のスイッチは絶対に使用しない** 漏電・感電や火災のおそれがあります。
🚫	**本体やリモコンに直接水やお湯・カビ取り剤などをかけない** 故障や感電することがあります。
🚫	**リモコンは、床や浴槽に落とさない** 故障の原因になります。
❗	**ヒーターの熱を直接受ける場所に造営物が無い事を確認する** 火災や故障・変形や変色・変質の原因になります。
❗	**配線コードは確実に端子部へ接続する** 不確実な接続をすると過熱し、火災のおそれがあります。

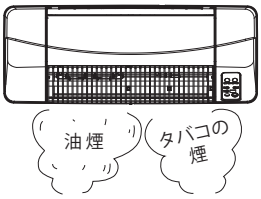
⚠ 注意

❗	**取付作業時には、必ず手袋をはめて行う** 板金部品などの切り口や本体の突起・角などでけがをすることがあります。
❗	**本体の設置工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う。** 落下により、けがをするおそれがあります。
❗	**本体の取り付けは本紙「取り付けのご注意」を守る。** 火災のおそれがあります。
❗	**洗濯物はヒーターから50cm以上離す。** ヒーターに近づけ過ぎると、火災や故障・衣類の変色や変質の原因になります。
❗	**部品の取り付けは確実に行う。** 落下により、けがをするおそれがあります。
🚫	**強い振動や衝撃を与えない。** ヒーターが破損し、感電やガラス破片によりけがの原因になります。

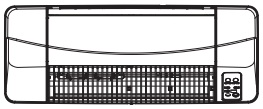
安全上のご注意（つづき）

■取付場所について下記の点にご注意ください。

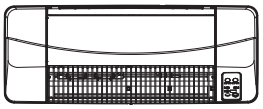
■油煙・タバコの煙の多い場所で使わないでください。
破損・故障の原因になります。



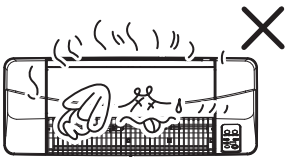
■有機溶剤を使う場所で使わないでください。
故障の原因になります。



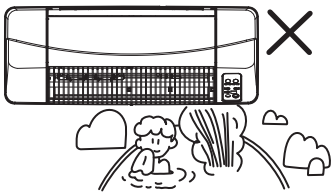
■スプレーを使う場所で使わないでください。
故障の原因になります。



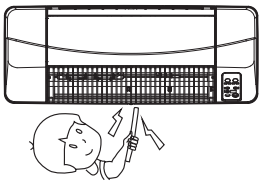
■付近の温度が40℃以上になる場所への設置はさけてください。
故障の原因やモーターの寿命を早めます。



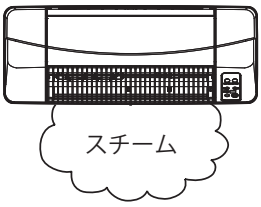
■温泉水、温泉成分の含んだ入浴剤を使用しない
変色・腐食などにより、性能および耐久性を著しく損なう原因や、ひび割れや落下してけがをする原因になります。



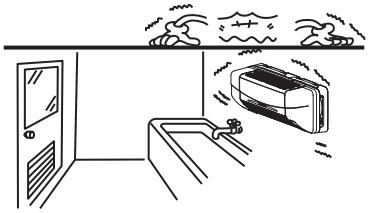
■ヒーターを棒などで触らないでください。
破損の原因になります。



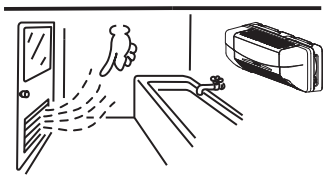
■スチームサウナ付きの浴室に取り付けないでください。
故障の原因になります。



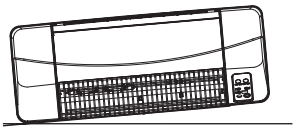
■しっかりと取り付けてください。
騒音・振動の原因になります。



■給気口を設けてください。
有効開口面積100cm²以上
（効果的な換気ができません）



■本体が傾かないよう水平に設置してください。
部品の寿命を早めたり、故障の原因になります。



■スチームサウナ・ミストサウナ付の浴室に取り付けないでください。
故障の原因になります。

■ユニットバス以外および下記の浴室では室温が上昇しない場合があります。
①窓が大きいとき
②浴室の容積が大きいとき
③タイル貼りの面積が大きいとき
④その他浴室の密閉性や断熱性が悪いとき

取り付けのご注意

■製品の取り付けには、下図のような規制を受けますのでご確認ください。

(地域によっては、火災予防条例にもとづく指導が異なる場合がありますので、行政官庁または所轄の消防署にお問い合わせください)

■機密性や断熱性が悪い浴室では、性能が十分発揮できない場合があります。
とくにモルタル・タイル壁・窓が大きいなどの在来工法の浴室は、ユニットバスに比べ断熱性能が著しく低い場合が有り室温が上昇しにくくなります。
したがってユニットバスへの設置の場合と比べ性能が大きく劣ることがあります。

在来工法の浴室に設置の場合には、お客様に十分ご説明ください。

■製品の取り付けには、下記のような規制を受けますのでご確認ください

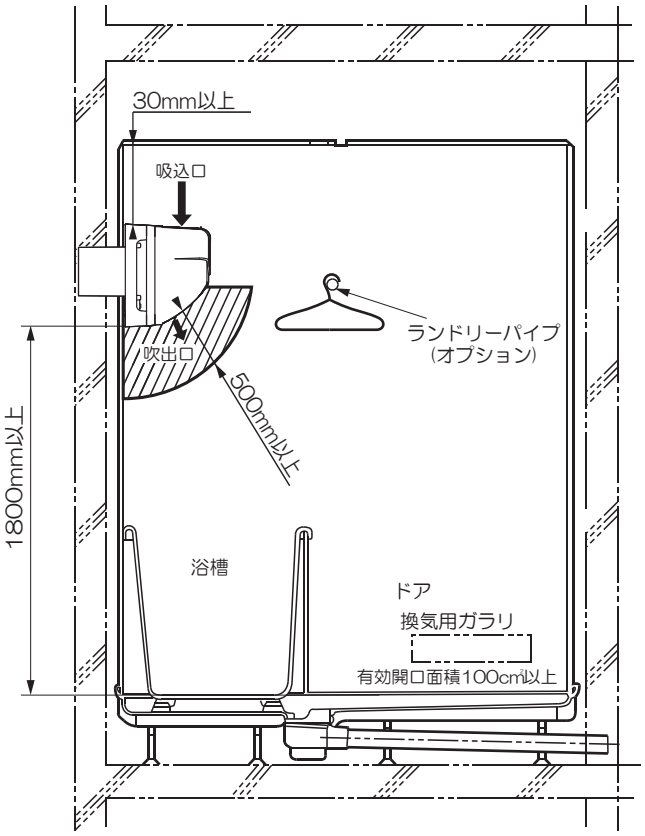
(地域によっては、火災予防条例にもとづく指導が異なる場合がありますので、行政官庁または所轄の消防署にお問い合わせください)

①機器本体
設置場所は浴室・脱衣室等の壁面に限ること。
天井には取り付けしないでください。

②取り付け
本体は壁面に堅固に取り付けること。

③造営材等を設けない範囲
本体の温風吹出口の前方500mm未満・空気吸込口の30mm未満の範囲内には、造営材など(乾燥する衣類・照明器具・手すりを含む)を設けないこと。

④漏電遮断器
漏電遮断器を設けること。
(分電盤にあればよい)

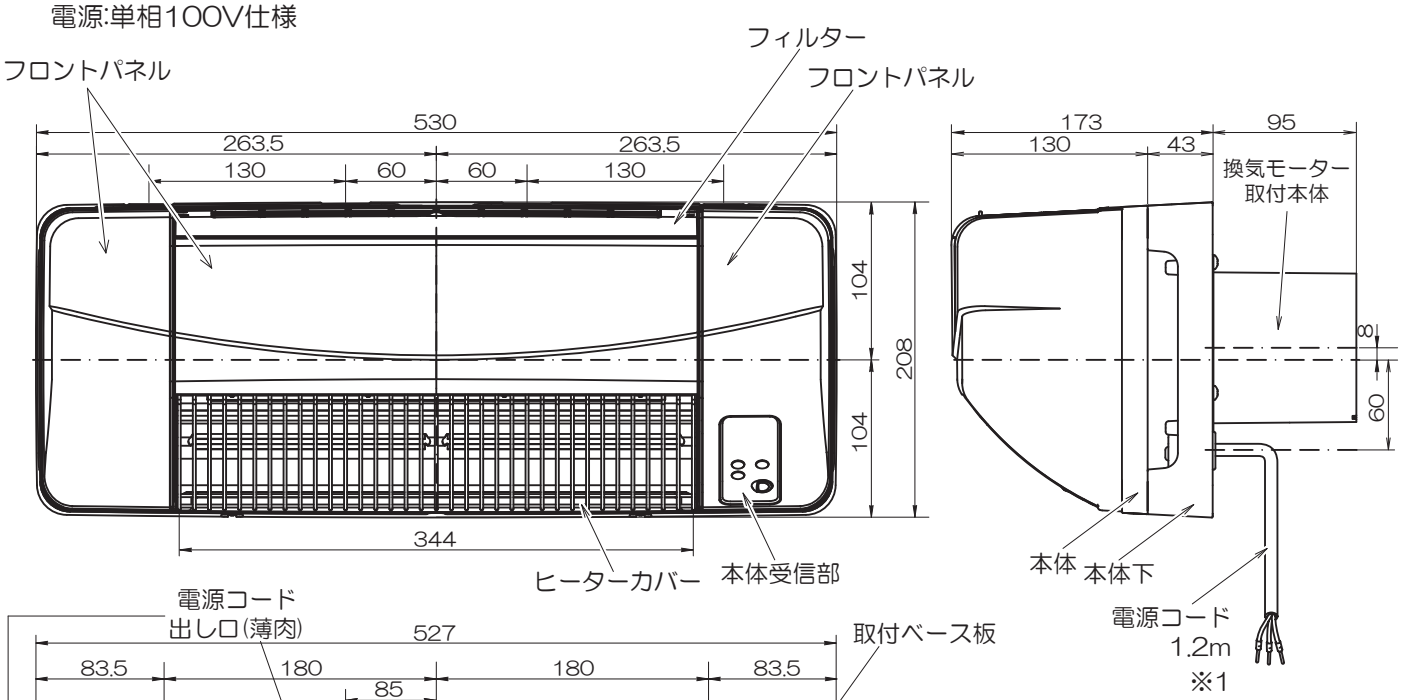


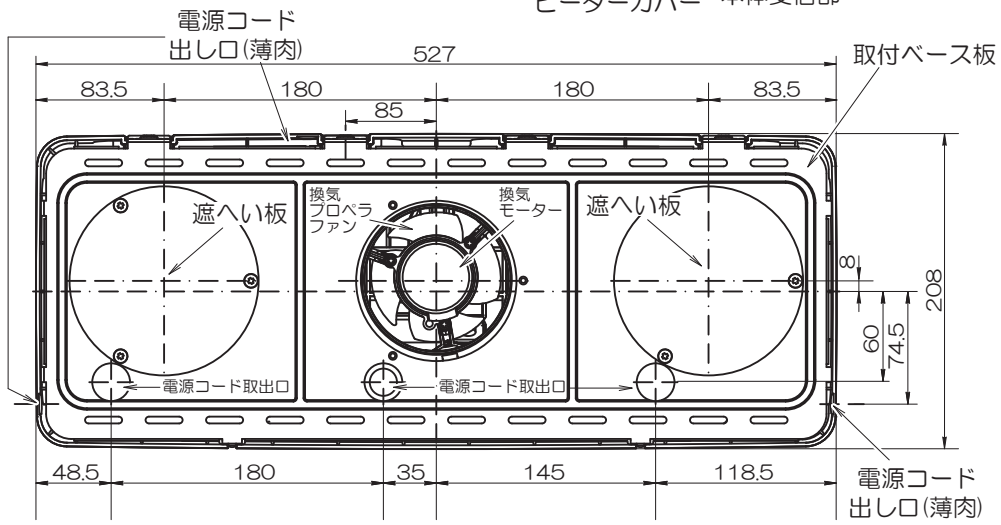
■この浴室換気乾燥暖房機の質量は約5.0kgあります。
据え付ける壁面や既設の換気口(木枠)が十分に強度のあることを確認してください。
状況によっては補強や追加の部材が必要になることがあります。

■排気ダクト先端にパイプフードの防虫網付(細目)は絶対に使用しないでください。

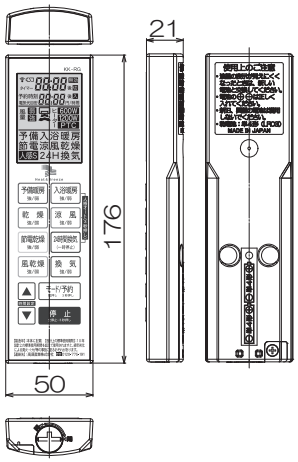
外形寸法と各部の名称

■本体　BF-961RGA
電源:単相100V仕様

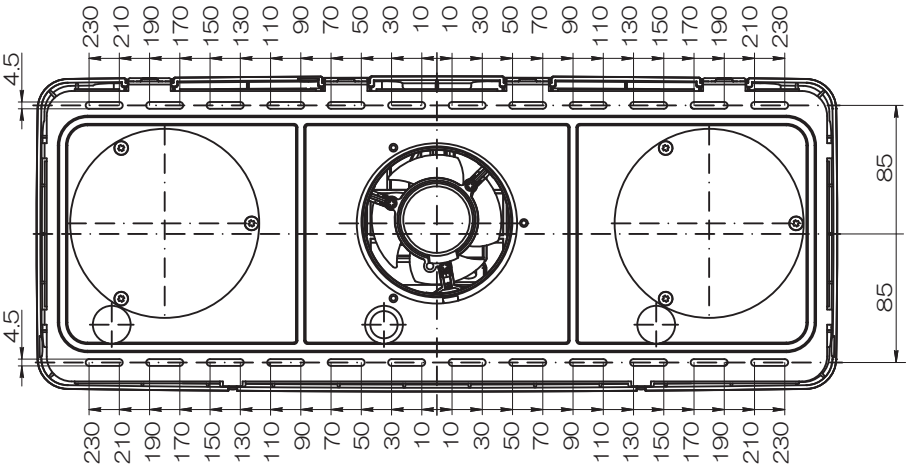




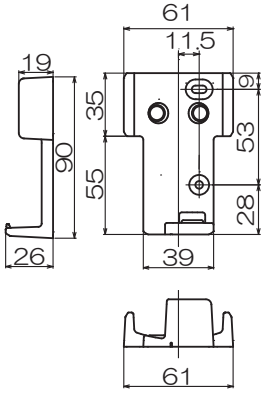
■リモコン(KK-RG)



■取付穴寸法



■リモコンホルダー

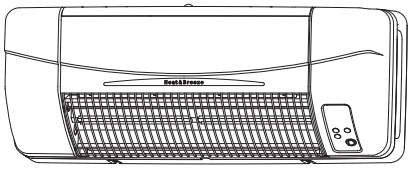


●適合ダクト：φ100mm
●取付可能開口寸法：
角穴100～150×100～480mm
丸穴φ100～φ150mm

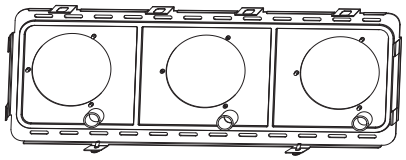
※1 電源コードの長さは工場出荷時の電源コード取り出し口の長さになります。他の電源コード取り出し口をお使いの場合は電源コードの長さが変化いたします。

■同梱部品(必ず確認してから工事してください)

本体



取付ベース板



標準リモコン(付属品)

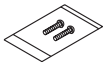
KK-RG

●単4形乾電池・・2本

●落下防止ボールチェーン 1本 (60cm)

●リモコンホルダー 1個

●リモコンホルダー取付ねじ 2本



●電源接続用クランプコネクター 3個

本体取付ねじ

4×32・・・4本

取扱説明書 ・・・・1冊

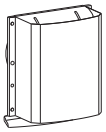
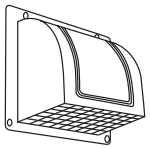
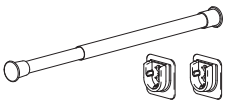
工事説明書 ・・・・1冊

カンタンリモコンガイド 1枚

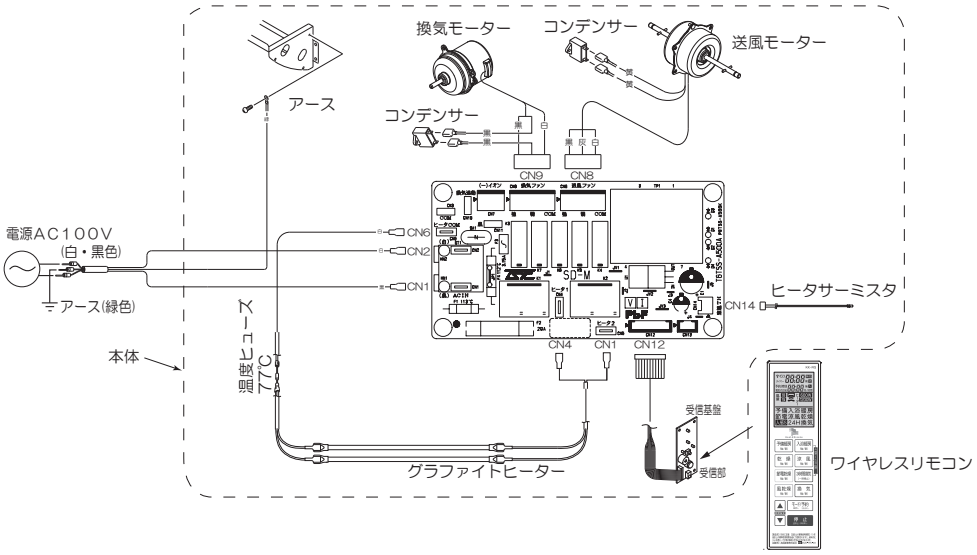
所有者票 ・・・・・1枚

個人情報保護シール 1枚

■オプション

サブリモコン	逆止弁	パイプフード	ウェザーカバー	ブランクプレート	ランドリーパイプ
					
KK-RG-M	KK-GBS	GFP-100E	WK-15W,15B,15K	KK-BP-A	LP-S1800T-2

■結線図



■現場で用意してください

配線コード	VVFケーブルφ1.6/2.0	適量	
漏電ブレーカー	過電流保護兼用で定格電流20A、高感度高速型		分電盤にあればよい
アース線	銅線φ直径1.6以上	適量	アース工事用
アース棒		適宜	
木枠	角穴新規開口・または既存の角穴に木枠がない場合	適宜	詳細はP9へ
保護パイプ	丸穴新規開口・または既存の角穴に保護パイプがない場合	適宜	詳細はP9へ
ダクト	φ100(不燃材料)	適宜	排気用 詳細はP12へ
アルミテープ	幅50mm(推奨)	適量	ダクト固定用
取付補強材		適量	製品を直付けする場合
パイプフードまたはウェザーカバー	オプション品番:GFL-100E、WK-15(黒,茶,白)	1個	排気壁面取り付け用
ランドリーパイプ	オプション品番:LP-S1800T-2	1本	衣類乾燥を行う場合

1. 取り付け前の準備

お願い

■本体設置工事と電気工事が異なる場合、工事説明書(本書)及び関連部品を確実に電気工事者様へお渡しください。
■本体の取付に際して、壁面や既設の換気口(木枠)が十分に強度のあることを確認してください。
■下図の寸法は推奨位置ですが、浴室・建物の構造条件に応じて取付方向・位置を検討ください。

1.機器を設置する壁は浴室内壁面であること。

●壁の種類　◎・タイル張り　・石膏ボード(アンカー取付設置)
　　△・樹脂製壁(必要に応じて補強してください)　・土壁(必要に応じて補強してください)

2.取付可能な寸法の確認

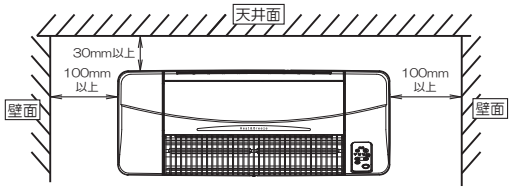
天井面から30mm以上、両側壁面から100mm以上離して取り付けできることを確認してください。(図1、2参照)

(天井面や壁面からのスペースを確保できない場合は、性能を十分に発揮できなかったり、浴室壁面・造営物を熱によりいためることがあります。)

●製品天面から天井面まで、30mm以上
●製品左側面から壁面まで、100mm以上
●製品右側面から壁面まで、100mm以上
●温風吹出口・空気吸込口から造営物まで、500mm以上

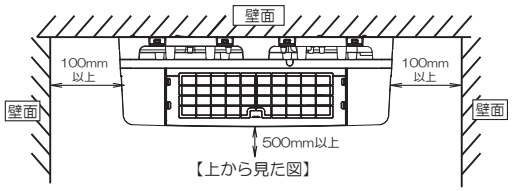
※下方向の窓枠に突起物がある場合、変形・変色するおそれがありますのでオプションの温風ガード(品番：RD-HG-1)を取付てください。(施工後の試運転時、必ず確認してください。)

【図1】



【正面から見た図】

【図2】



【上から見た図】

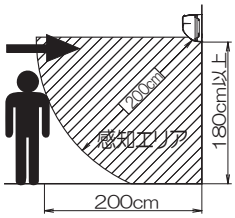
新規開口する場合

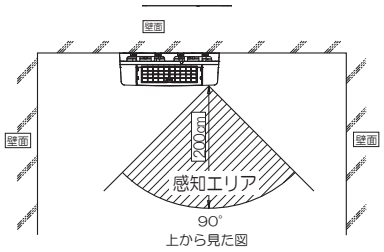
1.本体取付位置を決める

①設置場所はお客様と相談し決定してください。

②取付目安

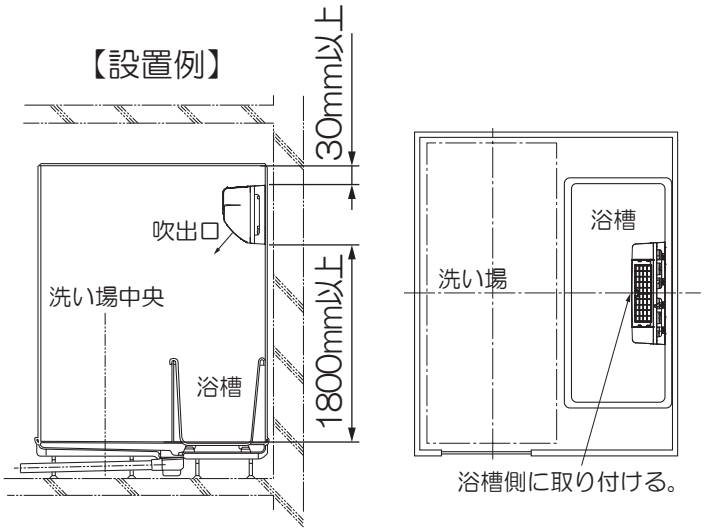
●下図の感知エリアを参考にして取付位置を選定してください。





上から見た図

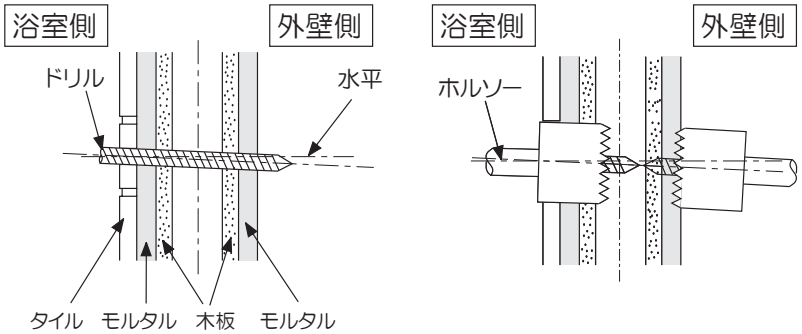
【設置例】



2.壁面を開口する

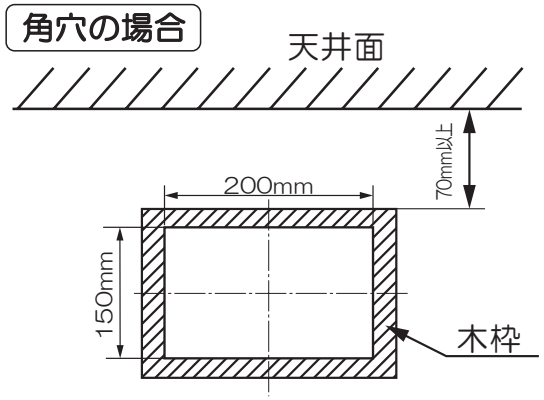
お願い

壁打ちセンサー等を使用して間柱・筋交いがないか確認してから作業をしてください。

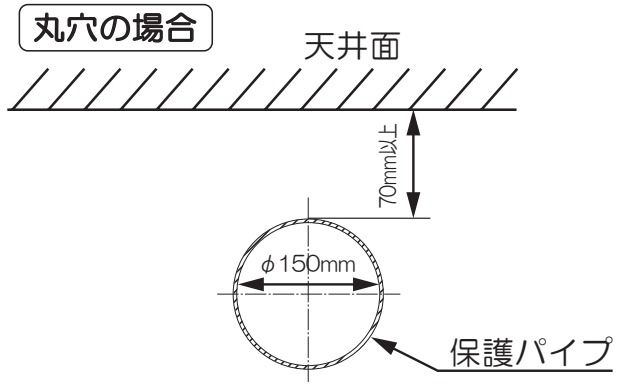


1. 取り付け前の準備 (つづき)

①角穴の場合：内寸W200mm×H150mm



②丸穴の場合：内寸φ150mmの
保護パイプの外形寸法

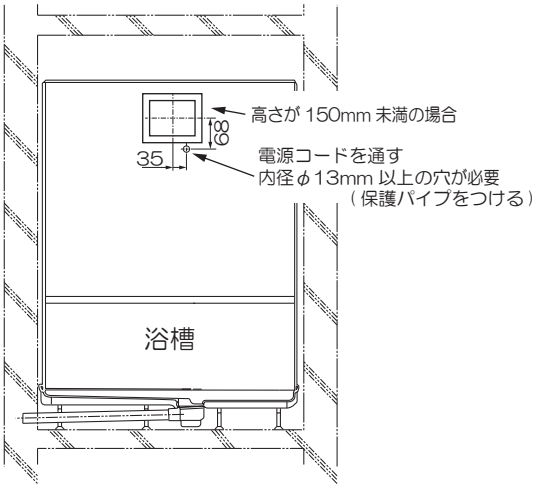


既存の換気扇を取り外して取り付けをする場合

1.開口角穴の場合

開口が角穴の場合100×100mmから
150×480mmまで取り付けが可能です。

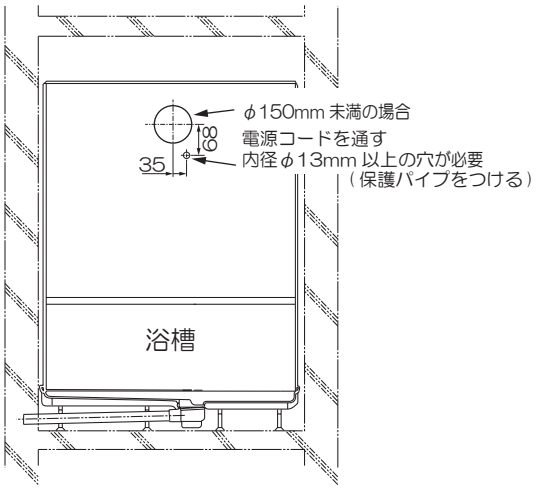
※高さが150mm未満の開口については
別途本体電源コードを通す穴(内径13mm
以上の保護パイプを付ける)が必要になる
場合がありますので、必要に応じて
開口してください。



2.開口丸穴の場合

開口が丸穴の場合φ100mmから
φ150mmまで取り付けが可能です。

※φ150mm未満の開口については
別途本体電源コードを通す穴(内径13mm
以上の保護パイプを付ける)が必要になる
場合がありますので、必要に応じて開口して
ください。



ブランクプレート(KK-BP-A)について

旧機種の取付ねじの跡が気になる場合、または開口が大きく本体でふさぐ事が出来ない場合に
使用します。

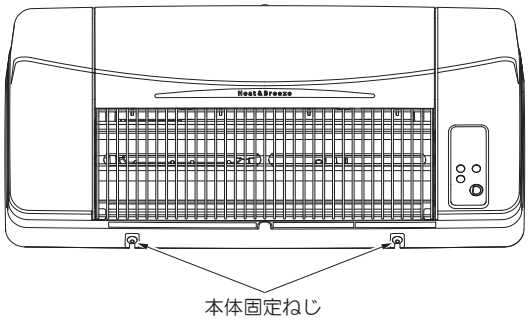
詳細は高須産業ホームページに掲載されているブランクプレート(KK-BP-A)の
取付・取扱説明書をご確認ください。

⚠ 警告	❗	メタルラス張り・ワイヤラス張り・または金属板張りの木造の造営物に 金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス・ワイヤラス 金属板とが電気的に接触しないよう取り付ける。 漏電した場合発火することがあります。

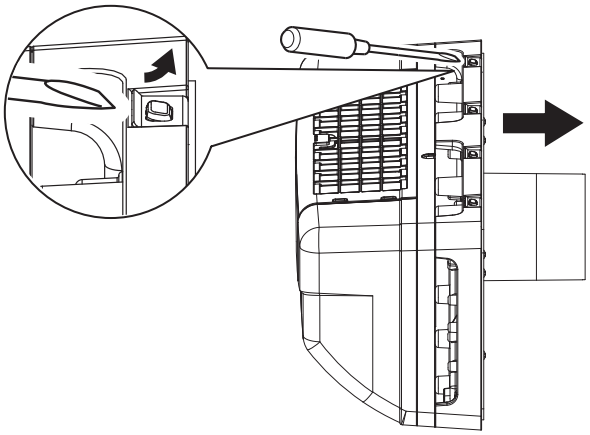
2. 本体の取り付け

1. 取付ベース板の取り外し

①本体下の本体固定ねじを緩める。

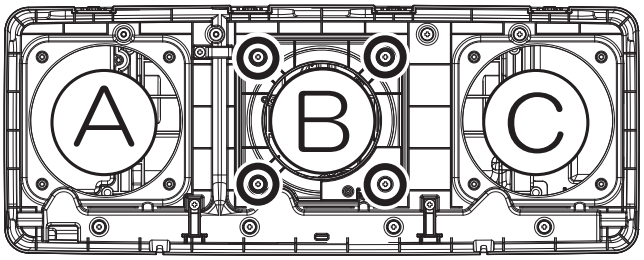


②取付ベース板の本体引っ掛け部を
マイナスドライバー等でツメを４ヵ所外し
取付ベース板を本体から取り外す。



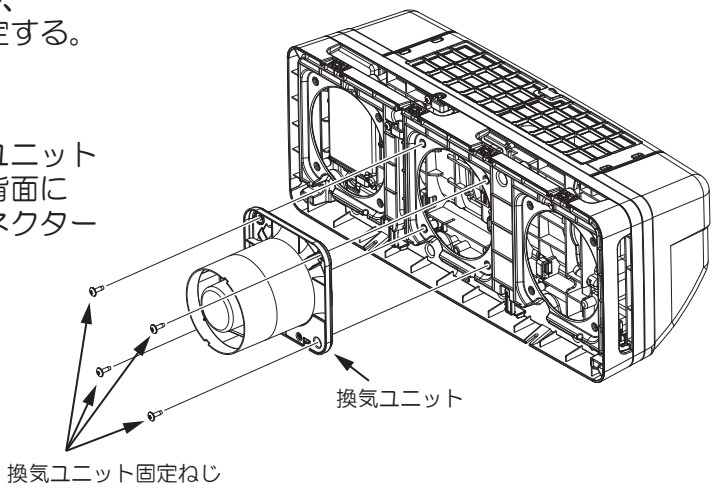
2. 換気口の設定

①本体裏の換気口を3箇所(A/B/C)から選ぶ。
出荷時は“B”に換気ユニットが付いています。



②換気ユニット固定ねじを4ヵ所取り外し、
換気ユニットを使用したい換気口に固定する。

※換気ユニットを付け替える際は、換気ユニット
の配線を挟み込まないように調整し、背面に
取り付けてある黒い配線用クランプコネクター
で固定してください。

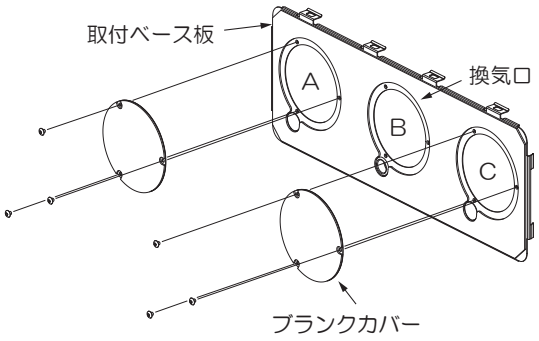


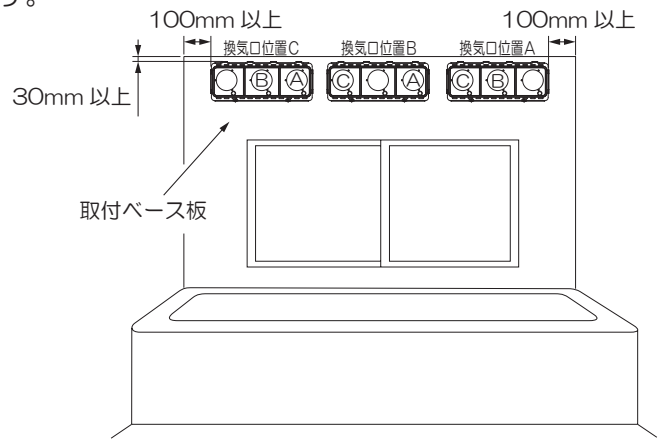
2. 本体の取り付け (つづき)

3. 取付ベース板の付け替え

2で設定した換気口に合わせ、ブランクカバーを付け替える。

※出荷時はA、Cにブランクカバーが付いています。

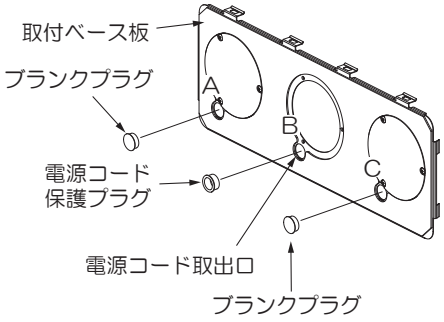




4. 本体電源コード取出口の変更

電源コード取出口に電源コード保護プラグを差し込み、他の2ヶ所にはブランクプラグを差し込んでください。

※出荷時はBに電源コード保護プラグA、Cにブランクプラグが付いています。

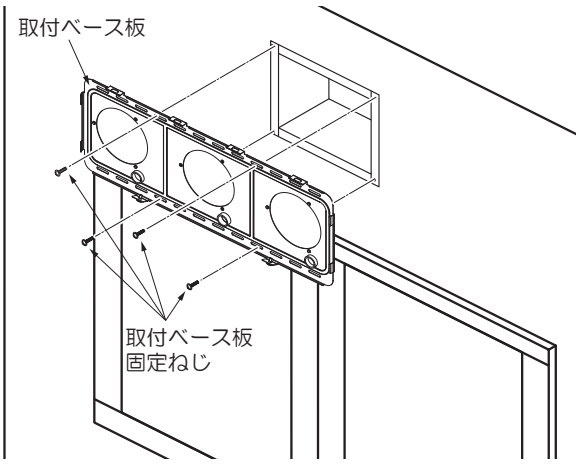


5. 取付ベース板の固定

付属の取付ベース板固定ねじ4本で固定する。

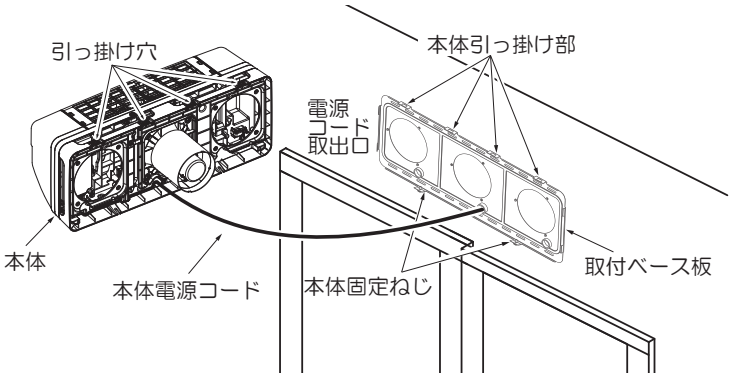
※壁面の材質によりアンカーなどを使用して頑丈に固定してください。

ご注意！
取付ベース板が変形するような取付をすると本体が正常に取付られない場合があります。必ず取付ベース板が変形しないよう取付を行ってください。



6. 本体電源コードを取付ベース板 電源コード取出口から、外部へ通す。

（ここでは中央に換気ダクトを取り付けた場合を示しています。）

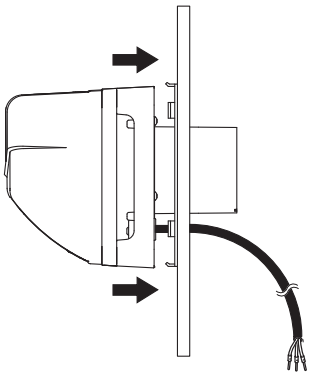


2. 本体の取り付け (つづき)

7. 本体電源コードを電源コード取出口から外部へ送り込みながら、カチッと音が鳴るまで水平に本体を押し込み、図1のように取付ベース板へ密着させる。

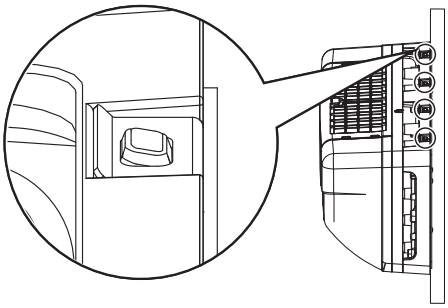
押し込む際に本体下の固定ねじが引っ掛からないように押し込む。
本体電源コードを挟み込まないように注意する。

図1



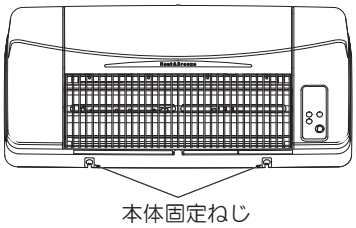
※図2の本体引っ掛け部4箇所が確実に勘合していることを確認する。

図2



8.本体下の本体固定ねじ(2ヶ所)で本体を固定する。

※本体がしっかり取り付いているか確認する。



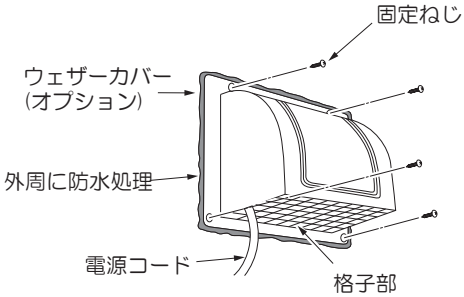
3. オプションの取付

■雨水の侵入を防ぐため、外壁面には必ずウェザーカバー、パイプフード(オプション)を取り付ける。

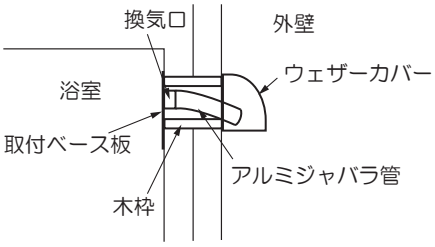
●パイプフードの防虫網付(細目)は絶対に使用しないでください。
目づまりにより、排気量が低下するおそれがあります。

●パイプフードは強制換気用の低圧損タイプを推奨しております。
※パイプフードの施工方法は、それぞれの工事説明書をお読みください。

●外周は必ずコーキングを使用し、防水処理を行ってください。

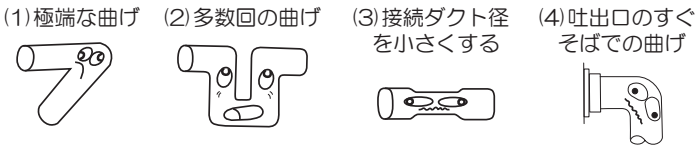


■必要に応じて換気ダクト接続口にアルミジャバラダクト等を接続し、外壁まで配管する。



■次のようなダクトの配管工事はしない

故障の原因となります。



■逆止弁の取り付けについて

●虫の侵入や逆風対策を行う場合、オプションの逆止弁を取り付けてください。
※24時間換気運転を行っていれば必ずしも取り付ける必要はありません。
※逆止弁を取り付けることにより、風量が低下する可能性があります。

4. 電気工事

【電源の接続】

注意事項

■**必ず電源ブレーカーを使用して、15A以上を確保できるようにしてください。**
やむを得ず他の機器と共用する場合でも、同時に運転した際に許容範囲内であることを確認してください。この場合は、点検の際に他の機器も電源を切ることになります。

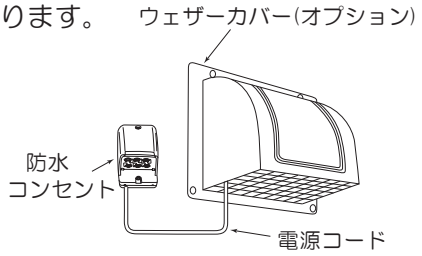
■**本機の緑色リード線を必ずアース接続工事をしてください。[D種接地工事]**

■**分電盤等からの電源工事は必ず有資格者である電気工事士の方が作業を行ってください。**

■**配線コードはVVFφ1.6/2.0mmの2～3芯を使用してください。**
細い芯線のコードを使用すると、発熱により発火のおそれがあります。

■**端子の接続部は、絶対に濡らさないよう防水処理を行ってください。**

■**電源コンセントは、絶対に使用しないでください。**



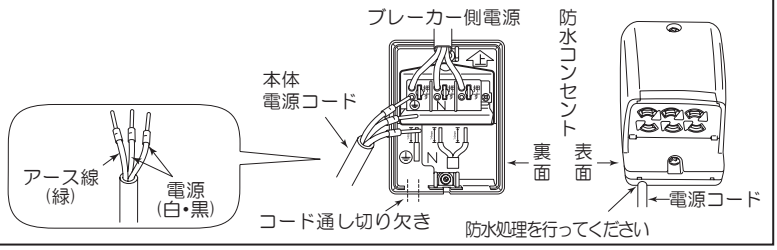
■**電源は単相100Vを使用して、確実に配線を行ってください。**
間違った電源を使用したり不十分な配線をすると、火災や故障の原因となります。

【配線例1】

【防水コンセントに接続する場合】

●電源コードに付いている棒端子を直接防水コンセント裏側の速結端子台に接続してください。

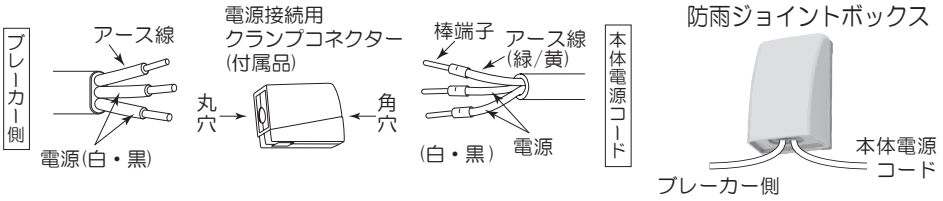
●電源コード部分にはコーキングを使用し防水処理を行ってください。



【配線例2】

【コード同士を接続する場合】

付属の電源接続用クランプコネクターを使用して右図のように接続してください。
(市販品の同等接続コネクタ可)



●棒端子は十分に奥まで差し込んでください。
●屋外でのコード同士の結線については適切な防水処理を行ってください。
(防雨ジョイントボックスを使用するなど)

《壁スイッチを経由した現行の電源を利用する場合の注意》

●本機は15A(約1225W)を必要としますので、壁スイッチを電源スイッチとしては使用しないでください。
火災や故障の原因になります。
この場合は、必ず壁スイッチの配線を取り外し、直結してください。

⚠ 警告	禁止 **本体電源コードは絶対に切断しない** 漏電、感電や火災のおそれがあります。
	禁止 **配線コードにより線は絶対に使用しない** 漏電・感電や火災のおそれがあります。
	注意 **配線工事は電気設備基準や内線規程に従って行う** 漏電・感電や火災のおそれがあります。
	禁止 **コンセントプラグおよび換気扇用のスイッチは絶対に使用しない** 漏電、感電や火災のおそれがあります。

⚠ 注意	●電気工事・アース工事は電気設備技術基準や内線規定に従って電気工事士が行う ●アース工事はD種接地工事に基づいて確実に行う ●本体電源コード及び配線コードの接続は確実に行う ●配線コードは分岐ブレーカー(15A以上)より配線する ●アースを確実に取り付け漏電遮断器を設ける(分電盤にあればよい) ●配線コードはφ1.6/2.0mmの単線(VVFケーブル)を使用する より線は接続不良により発熱のおそれがあるため使用しない

5. リモコンの取り付け

1. リモコンの取り付け位置を決める

※取付位置はお客様とご相談のうえ、決定してください

浴室外設置の場合

●浴室のドアを開け、本体受信部に向けて無理なく操作できる位置に設置してください。

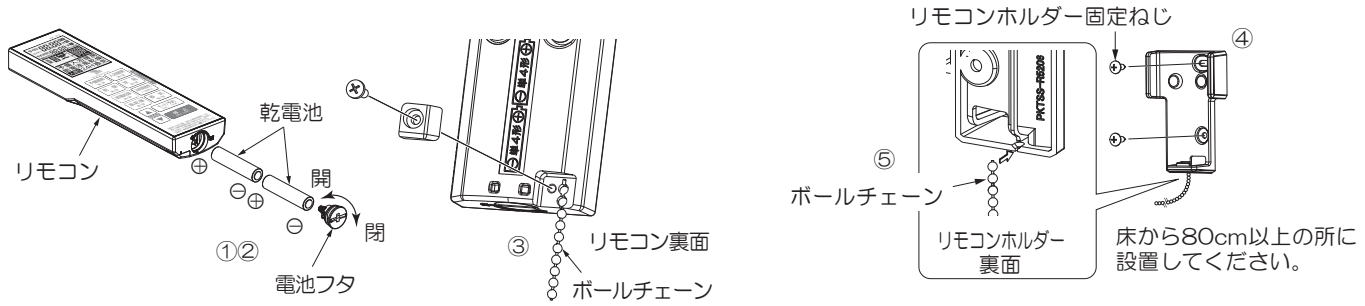
浴室内設置の場合

●シャワーなどのかかりにくい場所に設置してください。
●浴槽の上は避けてください。
●製品を取り付けている壁面は避けてください。

2. リモコンの取り付け

①リモコン底部の電池フタをドライバーやコインなどで回しフタを開ける。
②リモコンに付属の単四形乾電池2本を ⊕⊖ 正しく入れ、電池フタをドライバーやコインなどで電池フタを閉める。
③リモコンホルダー裏面のミゾに、落下防止ボールチェーンを差し込む。
④リモコンホルダーを付属の固定ねじ2本で固定する。
⑤リモコン裏面のねじを外し、ボールチェーンをミゾに差し込みカバーをねじで固定する。
※リモコンホルダーは浴槽より80cm以上の高さの所に付ける。
⑥リモコンをリモコンホルダーに差し込む。

【乾電池挿入方法】　【リモコンにボールチェーン取付方法】　【ホルダーにボールチェーン取付方法】

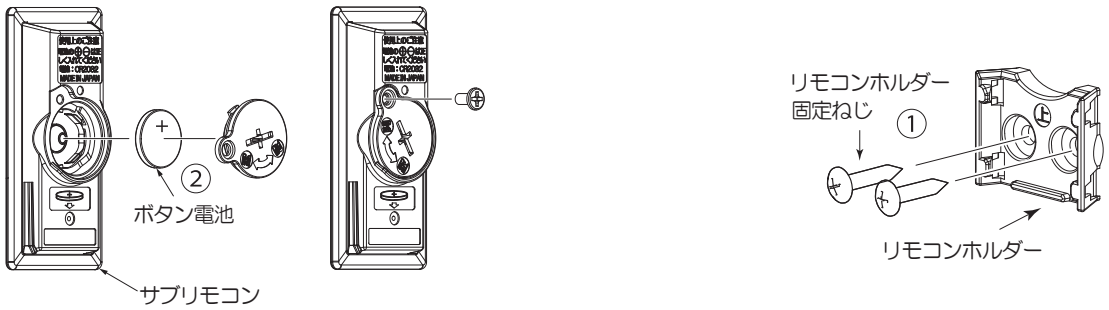


【オプション】

サブリモコンの取り付け（浴室内への設置も可能です。注意事項は 浴室内設置の場合 を参照してください）

①リモコンホルダーを付属の固定ねじ2本で固定する。
※リモコンホルダーは浴槽より80cm以上の高さの所に付ける。
②サブリモコンに付属のボタン型電池を ⊕⊖ 正しく入れる。
③サブリモコンをリモコンホルダーに差し込む。

【乾電池挿入方法】　【ホルダー取付方法】



お願い　設置工事が終わりましたら、取付状態はしっかりしているか、電気配線・アース接続・リモコン取り付けなどに誤りはないか再確認してください。

6.試運転

工事が完了したら、電源を入れる前に配線コードが定格電圧100Vのブレーカーに接続されていることを確認し、「取扱説明書」の“運転のしかた”を参照しながら各モードを試運転をしてください。

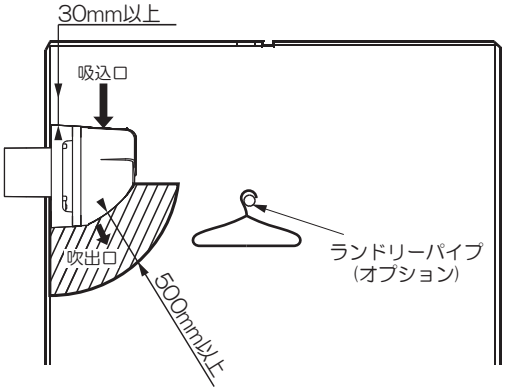
①予備暖房運転
②入浴暖房運転
③乾燥運転
④節電乾燥運転
⑤風乾燥運転
⑥涼風運転
⑦24時間換気運転
⑧換気運転

7.ランドリーパイプの取り付け (オプション)

洗濯物を干したとき、本体の温風吹出口から500mm以上確保できるようにランドリーパイプを取り付けてください。

※近づけすぎると火災や故障・衣類の変色や変質の原因になります。

●ランドリーパイプを購入されるときは必ず1本当たり10kg以上の重量に耐える不燃性と耐久性の品物を選んで取り付けてください。
●ランドリーパイプの取り付けは、充分強度が得られるように補強等を確実に行ってください。
●ランドリーパイプの取付位置や温度・湿度条件により乾燥時間は変動します。



8. 異常表示

本体受信部に以下の様なエラーサインが表示された時は電源を切り、お買い上げの販売事業者へ連絡してください。

【異常表示】

「異常」と判定して停止する状態は、下表の通りです。

エラー要因	説明	LED表示1※1	LED表示2	LED点滅	動作
室温サーミスタ異常 ※2	室温サーミスタ短絡/断線	強 & 弱	送風 & 換気	0.25秒	停止
室温異常 ※2 ※3	室温60℃以上	強 & 弱	送風 & 感知表示	0.25秒	停止
受信基盤通信異常	通信線短絡/断線・ノイズ等	強 & 弱	人感オート	0.25秒	全停止※4
受信基板側EEPROM異常	読込み3回エラー	強 & 弱	感知表示	0.25秒	全停止※4
本体フラッシュメモリ異常	フラッシュメモリ異常	強 & 弱	送風	0.25秒	全停止※4
ヒータサーミスタ異常 ※5	ヒーターリレー発熱検出・サーミスタ短絡/断線	強 & 弱	換気 & 感知表示	0.25秒	運転不可
電源電圧異常 ※6	電源電圧低下/超過	強 & 弱	人感オート	1秒	停止

※1 LED表示1の強/弱LED点滅は、どのエラーでも0.25秒間隔です。
※2 室温サーミスタ異常、室温異常時は乾燥・暖房運転のみ運転不可となり、他モードの運転は可能です。
※3 室温異常は60℃以上検出でエラー表示が出ますが、室温55℃以下に下がった時点で自動復帰します。
※4 全停止のエラーはリセット操作(停止SW長押し10秒)でエラー表示を消す事が出来ますが、リセット後もエラー状態を検出した場合は再度エラー表示します。
※5 ヒーターリレー発熱検出時、運転が停止しますがヒーター冷却のための「送風ファン」は、強制的にON状態を継続します。
また、ヒーターリレー発熱検出時もサーミスタ短絡/断線のどちらの場合も、エラー検出後は停止SW長押しでのリセット操作は不可となり、AC電源供給をOFFしないと異常表示を解除できなくなります。
※6 電圧低下異常時は、電圧が正常値に戻った場合は自動復帰します。
電圧超過異常時は、基板にダメージが残った可能性がありますので復帰できません。

9.各種設定変更のしかた

■オプション設定操作方法

起動条件：停止モードでのみ起動可能です。（ 停止 ボタン長押し(3秒間)で、全停止してください。）

① ▲＋ 停止 ボタンを同時に長押し(3秒間)すると設定変更画面になります。
（上段に“OP:1”が表示、下段に初期設定値“1”が表示されます。）

② ▲ / ▼ ボタンで設定値を変更できます。

③ モード/予約 ボタン押すごとに上段“OP：1”～“OP：6”が切り替わります。

④**リモコンを本体に向け、** モード/予約 を長押し(3秒間)し、本体から**『ピッ』という受信音が4回**鳴ったら設定完了です。
途中“OP：3”等で モード/予約 ボタンを長押し(3秒間)しても 無効 となり、設定は確定されません。
必ず“OP：6”まで設定してはじめて確定が有効になります。

・30秒間無操作で、元の状態に戻ります。
・途中で設定を中止する場合、 停止 を押せば元の状態に戻ります。

オプション設定一覧

：初期値

項目NO.	項目	単位	設定データ範囲 表示データ / 設定データ範囲								液晶表示 上段 / 下段
1	人感センサーOFF ディレイ時間	分	1	2	3						OP：1
			1	2	3						×
2	人感センサー 強制停止時間	時間	1	2	3						OP：2
			1	2	3						×
3	人感センサー 電圧設定	dig	1	2	3	4	5	6	7	8	OP：3
			30	50	70	90	110	130	150	170	×
4	人感センサー 時間設定	秒	1	2	3	4	5	6	7	8	OP：4
			0.4	0.8	1.2	1.6	2	2.4	2.8	3.2	×
5	温度センサー 補正	℃	-9	-8	-7	・・・	0	・・・	8	9	OP：5
			-9	-8	-7	・・・	0	・・・	8	9	×
6	ヒーター1/2 on/off温度差	℃	0	1	2	3	4	5			OP：6
			0	1	2	3	4	5			×

■同機種を2台設置した場合のリモコンチャンネル設定変更のしかた

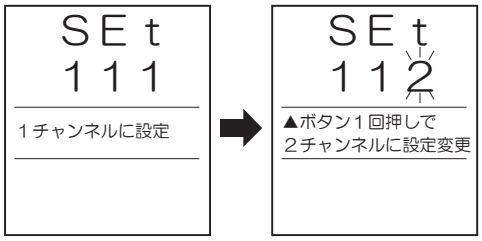
①電池を投入し約5秒ほど待ったあと、約1分以内に②の操作を行う。

② ▲＋▼＋ 停止 を3秒間同時押しすると、上段表示部に”SEt”を表示、下段表示部に××1が表示します。

③ ▲ を1回押し、××2に変更。

④**リモコンを本体に向け、** モード/予約 を長押し(3秒間)し、本体から**『ピッ』という受信音**が鳴ったら設定完了です。

・30秒間無操作で、元の状態に戻ります。
・途中で設定を中止する場合、 停止 を押せば元の状態に戻ります。



■浴室内の温度を上げるとき、下げるときの設定変更のしかた

① モード/予約 ＋ 入浴暖房 を3秒間同時押しすると
上段表示部に”ondo”を表示、下段表示部に”45”が表示します。

② ▲ で1℃単位で上昇し最大50℃まで設定可能です。
▼ で1℃単位で下降し最小30℃まで設定可能です。

③設定温度が決まったら**リモコンを本体に向け、** モード/予約 を長押し(3秒間)し、本体から**『ピッ』という受信音**が鳴ったら設定完了です。

・30秒間無操作で、元の状態に戻ります。
・途中で設定を中止する場合、 停止 を押せば元の状態に戻ります。

高須産業株式会社
TSK 換気システム
本社／〒311-2404 茨城県潮来市水原3080
TEL 0299-67-5151 FAX 0299-67-5120
ホームページアドレス https://www.takasu-tsk.com
メールアドレス info@takasu-tsk.com